



NEWS LETTER

2019年度 母性看護学領域

中村幸代（教授） 飯田真理子（准教授） 竹内翔子（講師） 佐藤いづみ（助教）

母性看護学卒業研究発表会の開催

2019年12月10日に母性ゼミ生10名が卒業研究論文の発表を行いました。今年度は助産院で8名、フィリピンで2名のゼミ生が統合実習を行い、その成果を論文としてまとめました。4年生の集大成としてふさわしい、素晴らしい発表でした。（各学生の研究テーマは母性看護学研究会HPに掲載しています。）

卒業研究を通して

フィリピン共和国にて卒業研究を行いました。研究の方法のみならず、文化的背景による看護の捉え方の違いや新しい価値観を多く学ぶことができ、自分自身の捉える「看護」を改めて考えるきっかけになりました。この貴重な体験をこれからのお仕事に活かしていきたいです。

2019年度母性ゼミ生 浦崎寛菜

卒論を通して研究方法だけでなく、助産師の方々がどのような思いや信念を持ってお母さん、赤ちゃん、そして家族と関わっているのかを知り、多くの学びを得ることができました。さらに将来どのように出産したいか、女性としてどのように生きたいかを考える貴重な機会になりました。この経験を活かし、これからも学んでいきたいと思います。

2019年度母性ゼミ生 萩原美穂



<2019年度ゼミ生の皆さんへ>

ご卒業おめでとうございます！

今年度は卒業式や謝恩会が中止となり、直接お祝いの言葉をお伝えできずとても残念ですが、領域教員一同、これから皆さんのご活躍を心から祈っています。



(撮影：中村幸代教授)

3月6日、卒業記念樹の木瓜の花がきれいに咲き、皆さんの4月からの新しい門出をお祝いしているようでした。

領域教員の研究活動

今年度は様々な学会が中止となり、発表できる機会が減ってしまいましたが、各教員がIACSC（インドネシア）やICM（ナミビア）、日本看護科学学会学術集会（金沢）などの学会で研究発表や実践報告を行いました。これまでの学会発表ポスターは来年度の本学大学院のオープンラボ（5月22日開催予定）でも掲示する予定です。ご都合のつく方はぜひお越しください！



母性ゼミ卒業生より

就職して早いもので2年が経とうとしています。この2年で色々なお産に立ち合うことができました。大学病院なので幸運なお産ばかりではなく辛い時もありましたが、先輩方にご指導いただき日々多くのことを学んでいます。4月からは3年目。さらに成長できるように頑張っていきたいと思っています。（2016年度卒 多田理紗子さん）

助産の一年間は想像よりもはるかに大変でしたが、沖縄の病院、離島、都内の病院などでの実習でたくさんの貴重な経験をさせていただき、知識、技術だけでなく視野も広げることができました。卒業後は、大学の附属病院で、1人1人に寄り添い、夫婦が出産を乗り越え、家族形成をしていくサポートができるよう助産師として頑張っていきたいです。（2018年度卒 寺内沙希さん）

助産学分野開講決定！

横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻に助産学分野を開設することが決定しました。本分野は修士(看護学)および助産師国家試験受験資格が与えられるコースです。2021年4月開設に向け、領域教員一丸となって準備を進めています。本学大学院（博士前期課程：母性看護学分野/助産学分野、博士後期課程：健康支援看護学分野）へ進学をお考えの方はお気軽に、かつお早めにご相談ください！！

理事長賞を受賞しました！

母性看護学領域が令和元年度理事長賞を受賞しました。この賞は、大学としての評価を高めることに寄与した教職員に送られるものです。表彰式は残念ながら中止になりましたが、表彰状をいただきました。これからも大学の質向上に貢献できるよう、取り組んでいきたいと思います！



地域貢献活動が掲載！

母性看護学領域で取り組んでいる妊婦さんとその家族への育児支援クラス「HUG Your Baby」と小学校の出前教室「いのちの授業」の活動が大学広報誌『地域貢献通信』に掲載されました。地域貢献通信は後日、大学HPに掲載されますので、ぜひご覧ください。



【お願い】登録メールアドレスの変更は、下記までご連絡ください。

竹内 : shoko@yokohama-cu.ac.jp

↑ Facebook

↑ 研究会HP